

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第368回

上杉鷹山

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年9月12日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

人間は、いつも張り詰めた
弓のようにしては
続かない。

上杉 鷹山は、江戸時代中期の大名。出羽国米沢藩9代藩主。山内上杉家25代当主。諱は初め勝興、後に治憲であり、鷹山は藩主隠居後の号であるが、この名で知られる。米沢藩政改革を行った江戸時代の名君として知られる。

Column

今回の言葉にある『人間は』は『人生は』にも置き換えられると感じました。人生において歯を食いしばって痛みを耐えながら進むべき瞬間もあります。むしろ何もしないで笑っているだけでは全く進まないのが人生です。しかし、できることならいつも楽しく笑っていたいのが人間という生き物だ、それが理想だと私は思っています。もちろん現実はそのとはいかないことも承知しています。ただ、少しでも多く笑える瞬間を作るためには小さなことにも感動できる“準備”が必要で、その準備とは小さなことでも見逃さないという“幸せを探す努力”がそれに当たると考えています。苦しくて辛くて心が折れそうな時、ほんの少しでも笑えるようなシーンに立ち会えたら『もうひと踏ん張りしよう!』という気持ちになれると思うのです。その気持ちが作れない限り、一歩踏み出すことはできないと私は思っています。そして、一歩目さえ出すことができれば二歩目、三歩目と続いていくはずだと思います。みなさんの中のほとんどは小学生の時に水泳の授業があったと思いますが、プールの中で全員で同じ方向に走り続けてプールの水が流れる（回る）ようにした経験はありませんか？完全に流れが生まれたあとは浮いていれば水に流されてぐるぐるとプールの中を回ることができて私はとても楽しかったことを覚えています。周りの人の力を借りて同じ方向を目指し、最初は重たくてうまくいかなくて。同じだけ頑張ろうとしてくれない仲間にも腹を立てつつ、自分よりも強く走り続ける仲間に関心しつつ、勢いがついて回り出せばそんな仲間とも大声で笑いながら同じ達成感を味わうことができ。これは人生を歩いていくことにも繋がると思っています。生きていく中で自分だけの力ではどうにもならないと感じることが多いです。芸人の松本人志さんが『緊張と緩和によって笑いが起きる』というコメントをよく耳にします。私は笑うことは人生を豊かにすると信じています。そういう意味では人生を充実させるためには緊張も緩和も同じだけ必要なのです。いずれも全力で味わえる正智深谷高校のみなさんであってほしいと願っています！